

二戸地域農業の紹介



1 二戸地域の農業データ

項目	目	平成30年	令和元年	令和2年
農畜産物の販売額	(百万円)	49,432	43,940	46,299
田畑耕地面積	(ha)	11,980	11,960	11,910
水稲作付面積	(ha)	1,672	1,672	1,678
りんご栽培面積	(ha)	202	184	179
肉用牛飼養頭数	(頭)	8,683	8,941	8,454
乳用牛飼養頭数	(頭)	5,122	5,030	4,889
米販売額	(百万円)	414	350	353
野菜販売額	(百万円)	2,813	2,631	2,847
果樹販売額	(百万円)	409	469	425
花き販売額	(百万円)	358	329	348
葉たばこ販売額	(百万円)	2,435	2,670	2,213
ホップ販売額	(百万円)	112	108	97
肉用牛販売額	(百万円)	2,559	2,470	2,068
乳用牛(生乳)販売額	(百万円)	2,911	2,928	2,920
豚販売額	(百万円)	3,809	4,086	4,542
鶏販売額	(百万円)	33,328	27,638	30,222
うちブロイラー	(百万円)	33,328	27,638	30,222

2 二戸地域の多様な担い手及び農地の効率的な利用

(1) 新規就農者数

項目	目	平成30年	令和元年	令和2年
新規就農者数(人)	目標	20	22	22
	実績	22	20	20

(2) 意欲ある多様な経営体の育成

令和2年度

項目	目	二戸市	軽米町	九戸村	一戸町	計
地域農業マスタープラン作成状況(地区)		7	10	3	8	28
認定農業者数(経営体数)		241	136	81	164	622

(3) 農地の効率的な利用

項目	目	平成30年	令和元年	令和2年
水田整備面積(単年度、ha)		90	124	131
畑地かんがい面積(累計、ha)		1,007	1,051	1,069

(4) 農山村の活性化

令和2年度

項目	目	二戸市	軽米町	九戸村	一戸町	計
中山間地域等直接支払制度協定集落数(地区)		36	27	7	13	83
多面的機能支払制度実施組織数(組織)		46	15	19	26	106

【出典】 JA新しいわて販売額等
農林水産統計情報
2020農林センサス
二戸農林振興センター調べ



二戸市・軽米町・九戸村・一戸町

二戸農業改良普及センター

地域の農畜産物

二戸地域は青森県と接する岩手県の最北端に位置しており、起伏に富んだ波状丘陵地帯となっている。
 総面積の60%は標高200～300mの丘陵地帯であるが、西南部の奥中山高原は1,100m、北部の青森県境は70mとなっており、地域内での標高差が大きい。
 年間平均気温は9～10℃前後で内陸性の気候のため寒暖の差が大きい。
 また、年間降水量は約1,000mmと少ない。

耕地の70%が畑で、夏期冷涼な高標高地、夏期温暖な盆地といった多様な地域特性を活かした園芸が盛んであるとともに、県内トップのプロイラーをはじめとして、養豚、酪農、肉用牛等の畜産が盛んである。
 また、地域の気候風土に合った作物として雑穀や葉たばこが古くから生産されており、全国有数の産地となっている。

米



県産米コンテスト上位入賞の「**銀河のしずく**」市場評価が高く複数年契約栽培の「**いわてっこ**」、冷めても美味しい低アミロース米の「**きらほ**」、酒造好適米の「**ぎんおとめ**」など、特徴ある米づくりに取り組んでいる。

レタス



一戸町奥中山高原は、**県内一の産地**で、**畑地かんがい**を活用した安定生産や**認証GAP**の取得に取り組んでいる。
 令和3年度の**系統販売額は、9.7億円**。

りんどう



二戸市、九戸村、一戸町で、盆・彼岸向けを中心に栽培され、7～10月にかけて継続出荷されている。県品種の他、複色系の品種等やメーカーの品種も栽培されている。
 令和3年度の**系統販売額は2.5億円**。

乳用牛



飼養戸数は減少しているものの、一戸当たりの飼養頭数・乳量は増加傾向にある。
 年間乳量1千トン以上の**酪農メガファームは、4戸**となっている。

きゅうり



二戸市を中心に栽培され、単収は県内で高水準である他、葉摘みヘルパーなど労働力確保対策にも取り組んでいる。
 令和3年度の**系統販売額は4.4億円**。

トマト



一戸町を中心に栽培され、長期安定出荷を目指し、既存ハウスでの環境制御技術の導入にも取り組んでいる。
 令和3年度の**系統販売額は2.1億円**。

葉たばこ



二戸市を中心に栽培され、栽培面積、生産量、販売額は県内の約7割を占めている。
 令和2年度の**販売額は、23億円**。

プロイラー



管内全市町村で約4,075万羽が生産されており、全県の約44%を占める一大産地である。
令和2年の販売額は302億円となり、管内農畜産物の販売額の65%を占める重要な産業である。

りんご



二戸市が約8割を占め、「はるか」の中でブランド基準を満たす「**冬恋(ふゆこい)**」は県内一の生産量である。令和3年度の**系統販売額は3.6億円**。

おうとう(さくらんぼ)



二戸市、一戸町を中心に栽培され、防霜対策や高温対策を徹底し、「佐藤錦」の中でブランド基準を満たす「**夏恋(かれん)**」は、甘く大玉でギフト用に利用されている。

雑穀



軽米町を中心に栽培され、近年高まる需要に応じるため、播種から乾燥調製までの**機械化一貫体系**に取り組んでいる。

産直



管内には、**16の産直施設**があり、季節の野菜、くだもの、穀類のほか、地元特産品の加工品などが豊富に揃っている。
 令和元年の**販売額は8.4億円**。